

市貝町ため池ハザードマップ

発行:市貝町役場 農林課 TEL:0285-68-1116

【保存版】
令和3年2月発行

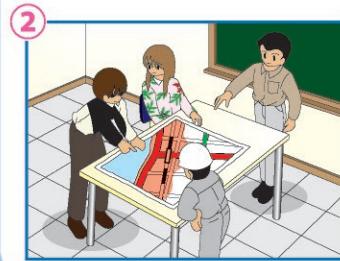
〒321-3493 栃木県芳賀郡市貝町大字市塙1280番地

このマップの使い方

ため池ハザードマップは、地震や大雨等により、ため池が決壊した場合に備えて、安全な避難行動に役立つ情報を示したもので、ため池からの氾濫範囲、浸水深や、避難場所の位置など、避難時に必要な情報を掲載しました。日頃から避難場所の位置を把握しておくとともに、安全な避難経路を確認し、すぐに逃げられるようにしてください。ため池が満水時に決壊した場合を想定した氾濫範囲、浸水深を着色して掲載していますが、着色した範囲以外でも、浸水がおきることや、浸水深が深くなることもあります。十分に注意してください。



- ①自宅等の周辺の危険性をハザードマップで確認しましょう。
- ②家族や近所で話し合い、避難場所や避難経路を決めておきましょう。
- ③家族の連絡方法や集合場所を決めておきましょう。
- ④いざという時に安全な避難行動が出来るように、日頃から準備しておきましょう。
- ⑤避難情報や気象情報等の防災情報の入手先を確認しておきましょう。



避難情報や気象情報の入手先を知りましょう

ため池が決壊する可能性が高まつた時は、市貝町から防災メールや防災行政無線等により情報を発表します。

大雨時や地震直後等は、的確な情報を入手するように心がけましょう。

ため池に異常を発見した場合は、すぐに市貝町役場へご連絡ください。

避難情報の伝達経路



インターネットからの情報入手先

市貝町役場: <https://www.town.ichikai.tochigi.jp/forms/top/top.aspx>

市貝町防災メール: regist@bousai.town.ichikai.tochigi.jp 右のQRコードから、登録してください。

栃木県防災ポータルサイト: <http://www.pref.tochigi.lg.jp/kurashi/bousai/index.html>

気象庁: <https://www.jma.go.jp/jma/index.html>

※登録が必要です。



避難情報が発表された場合は、すぐに行く動に移してください。避難情報は以下の3種類があります。

避難準備・高齢者等避難開始	避難勧告	避難指示(緊急)
● 人的被害の発生する可能性が高まり、避難に時間を要する人は避難を開始する状況	● 人的被害の発生する可能性が明らかに高まった状況	● 人的被害の発生する可能性が非常に高く、切迫している状況
とるべき行動	とるべき行動	とるべき行動
○ いつでも避難できるように、準備しましょう。 ○ 正確な情報を入手しましょう。 ○ お年寄りや身体の不自由な方は、避難を開始しましょう。	○ 避難場所、避難所に避難を開始しましょう。 ○ お互いに助け合い避難しましょう。	○ 避難可能な場合は、確実に避難を完了してください。 ○ 避難できない状況であれば、建物内や近所の安全な場所へ避難しましょう。

避難情報が出ていないとも、身の危険を感じたら、早めに安全な場所に避難しましょう。

警戒レベル

3

4

5

避難する時はこんなことに気をつけましょう

日頃から準備しておき、避難する場合は、危険な箇所を出来る限り避けて避難しましょう。



すでに浸水が始まっている場合や、ため池がすぐに決壊しそうな場合は、無理に避難せずに、自宅の2階や近所の高いところに避難しましょう。ため池からの浸水は流速が速く歩行が困難な場所もあります。

また、車での避難は危険です。徒歩で避難しましょう。

単独での行動は避け、隣近所に声をかけ合って、家族やグループで決められた場所に避難しましょう。

非常持ち出し品は、両手が自由に使えるようリュックサックにまとめて、持ちやすいように用意しておきましょう。

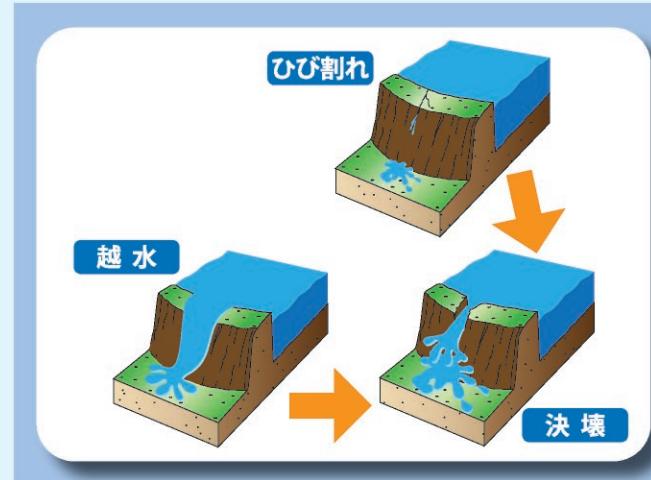
ため池はこんな状況の時が危ない

●地震時

ため池の堤防が、地震による大きな力を受けて亀裂が生じることで決壊する危険性があります。比較的小さな地震でも、堤防の内部に生じた亀裂などにより強度が低下し、水圧に耐え切れず決壊することがありますので注意が必要です。

●大雨時

ため池の水位が上昇し、堤防をのり越えた水の勢いによって堤防が浸食され、決壊することができます。流木やゴミ等によって余水吐(洪水吐)の断面がふさがると、堤防を越流しやすくなり、浸食・崩壊の危険性は、一層高くなります。



ため池の役割

ため池は、雨が少ない地域等で農業用水を確保するために、水を貯めておく人工的な池のことです。農業用水以外にも、大雨時の洪水調整池の機能としてや、水辺空間を提供する場所としても役立っています。

●農業用水としての役割 稲作のため、人工的に水を溜めるための施設です。

●防災としての役割 大雨時の洪水調整機能や、火災時の防火用水として利用できます。

●水辺空間としての役割 都市化が進む中、緑や水辺空間を提供しています。

●非常用水としての役割 災害など非常時に生活用水として利用が可能です。

塩田調整池は、いろいろな種類の冬鳥が休息池として訪れ、周辺には散策路や公園もあり、町の観光スポットとなっています。